

そではくガイドブック

人と未来
つながる
博物館



袖ヶ浦市郷土博物館

1F 常設展示

袖ヶ浦市の歴史をさかのぼりながら展示を見ていきましょう。

中世 小櫃川の流れとムラのくらし

河川交通の要であった小櫃川を背景に発展した横田郷の様子を紹介しています。



〈川と市〉
室町時代の10月下旬

近世 街道と村のくらし

袖ヶ浦駅周辺は、江戸時代房総往還の継立場として栄えた地域です。現在でも、昔の町並みの名残を見ることができます。



〈奈良輪宿の賑わい〉
江戸時代後期の5月

近現代 明治・大正・昭和のくらし

震災や戦争、高度経済成長による海岸部の埋め立てと工業地帯の発展など、大きな変革期の様子をご紹介します。



〈ある日の袖ヶ浦〉
昭和19(1944)年12月2日午前
戦地へと向かう人を見送っています



〈税を運ぶ人〉
奈良時代 天平勝宝年間の11月下旬



〈米づくりのムラ〉
弥生時代後期の5月下旬の朝



〈山野ムラの干貝づくり〉
縄文時代後期の6月下旬の朝

古代 古東海道とムラのくらし

古墳時代～奈良・平安時代のムラのくらしや、市内古墳出土品、都への献上品であった幻の望陀布(復元)を展示しています。

原始Ⅱ 稲作のはじまり

弥生時代のムラの様子を、拠点として栄えた大竹遺跡群や根形台遺跡群の出土品から紹介しています。

原始Ⅰ 袖ヶ浦のあけぼの

県指定史跡 山野貝塚の縄文人のくらしを出土品から見ていきます。また、房総半島に人々が暮らし始めた約3万年前や20万年前ごろの動物化石を展示しています。

映像展示室 ↑

↳ 民俗展示室

1F 民俗展示室

『人の一生』と『村の一年』の2つのテーマに沿って展示しています。
袖ヶ浦市の民俗行事の写真や、人生の節目に饗された特別な食事を再現しています。



かしま人形(春日神社)
毎年9月上旬に行われている
年中行事です。



筒 粥(飽富神社)
毎年1月15日未明に
行われる神事です。
その年の豊作を占います。

展示室の様子



湯立て(久保田八幡神社)
釜で沸かした湯を参詣者に振りかけ、
疫病退散を祈願します。



七五三の祝い膳



雛の節句の祝い膳

2F 常設展示

平成18(2006)年度に国の重要無形民俗文化財(民俗技術)に指定された上総掘りの歴史や技術について紹介します。

上総掘りとは…

明治20年代後半期に千葉県君津市で考案された、深井戸掘りの技術です。西上総地方の地形を利用して、地下水を自噴させました。身近な竹を道具として利用したことや、掘削が少人数でできるという特長があります。農業用水や飲料水を確保するために多くの井戸が掘られ、現在も利用されています。また、水だけでなく温泉や天然ガスの掘削にもこの技術が使われてきました。



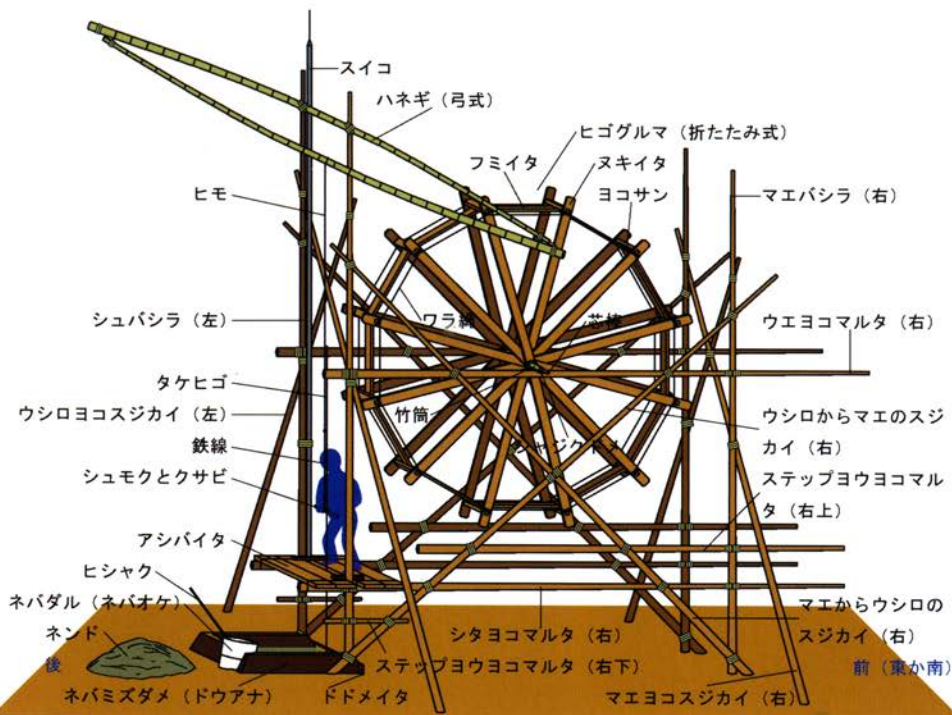
上総掘りで掘られた井戸



上総掘りのアシバ 博物館の屋外施設として常設し、体験学習の場としても利用しています。

上総掘りの道具

上総掘りには数多くの道具が使われますが、井戸掘り職人の手によって作成されるものも多く、職人毎の工夫の跡が見られます。また、掘削する場所によってその地層に合った掘削道具を工夫していた様子がわかります。常設展示では、養老川周辺の井戸掘り職人の道具と、袖ヶ浦市の職人の道具を展示しています。



上総掘りのアシバ各部位の名称



サキワ

掘削時にホリテッカンやスイコの先端に取り付ける道具です。



コシタ

屋外施設

屋外施設は、『水のふるさと』『古代住居の広場』『アクアラインなるほど館』『旧進藤家住宅』『万葉植物園』があります。

古代住居の広場

そではくは、^{にし の くぼ い せき}西ノ窪遺跡とされている遺跡の中にあります。博物館建設前に行った発掘調査の成果をもとに、2棟の復元住居を屋外展示しました。弥生時代と平安時代の竪穴住居です。見た目は似ていますが、中に入って違いを見てみましょう。



弥生時代の竪穴住居
西ノ窪遺跡026号住居址をモデルにしました。大きさは5.6m×4.8mの楕円形です。



平安時代の竪穴住居
西ノ窪遺跡014号住居址をモデルにしました。大きさは4.8m×4.8mの方形です。

『古代住居の広場』から『水のふるさと』に向かう道に、石造物10基を復元展示しています。市内には多くの石造物が残されていますが、その中から庶民の信仰や生活を伝える資料を選定しました。



馬頭観音(川原井)



山王様(上宮田八幡神社)

アクアラインなるほど館

東京湾アクアラインの開通1周年を記念して、平成10(1998)年にオープンしました。アクアライン建設に関する模型や、部品を展示しています。映像では、東京湾周辺の地域のくらしや、アクアライン建設に利用された土木技術について紹介するほか、アクアラインクイズコーナーも設置しています。博物館のキャラクターみらいくんの質問に何問答えられるかな？



セグメント

トンネルの壁をつくっている部材です。トンネルの輪を作るには11コのセグメントが必要です。



カッタービット
シールドマシンに
取り付けられて
いた刃です。



旧進藤家住宅

旧進藤家住宅は、平成2(1990)年に市に寄贈され、博物館の屋外施設として移築復元しました。進藤家は代々農業を営み、江戸時代末期には知行主の御地方役(代官)をつとめた旧家です。

建築計画や資材の調達について記された普請帳が残されていたため、建築年代が弘化4(1847)年であることがわかりました。西上総の上層農家の特徴を残している古民家です。現在では、小学校の校外学習の場としても広く利用されています。



小学校の校外学習の様子

施設概要

名 称	旧進藤家住宅
建 築 年 代	弘化4(1847)年
構 造 ・ 形 式	木造・寄棟造・茅葺
主 屋 面 積	約175㎡(53坪)
敷 地 面 積	約1,563㎡(474坪)
正 面 桁 行	約10間：約18.5m
側 面 桁 行	梁間約5間：約9.5m
修 理 種 別	解体修理、移築
移 築 期 間	平成2(1990)年6月 ～平成3(1991)年3月
市指定文化財	第14号





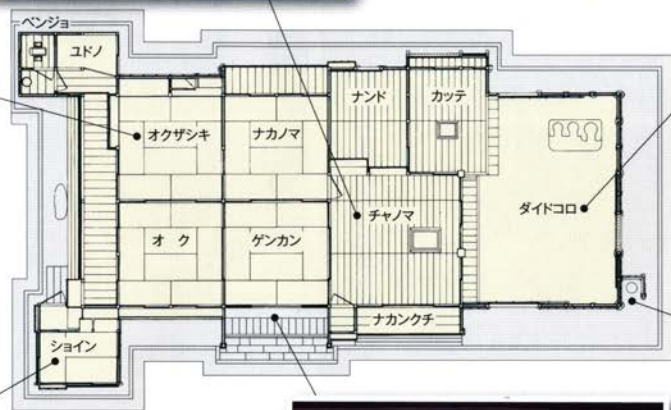
オクザシキ
床と書院を設けた格式の高い部屋です。



チャノマ
日常的な接客の部屋でした。
居間として使われました。



ダイドコロ



ショイン
明治初期に増築されました。

**旧進藤家住宅の
間取り図**



ベンジョ(外)

ゲンカン
特別なお客様用の
ゲンカンです。

万葉植物園

万葉植物園は、平成3(1991)年に博物館の屋外施設としてつくられました。『万葉集』に詠まれた万葉植物は約160種類あると言われていますが、そのうち105種類を園内で屋外展示しています。全国でもこのような植物園は数えるほどしかありません。



写真の万葉植物の名前は??

万葉植物は当時、現在の呼び名と異なる名前を持っていたものも多くあります。また、多くの植物はいろいろな用途に使われました。

万葉名(現代名)
花 期
用 途

ウメ(ウメ) 2月～3月 食用	ツバキ(ツバキ) 3月～4月 食用	ネツコグサ (オキナグサ) 4月～5月 染料・薬用	チサ(エゴノキ) 5月 洗濯
アフチ(センダン) 5月～6月 染料	ウマラ(ノイバラ) 5月～6月 薬用	ツミ(ヤマボウシ) 6月 食用	クレナイニ (ベニバナ) 6月～7月 染料・食用
ネブ(ネムノキ) 7月 食用・薬用	ユリ(ヤマユリ) 7月～8月 食用	オモヒグサ (ナンバンギセル) 8月～9月 薬用	ユフ(ワタ) 9月～10月 衣料・食用

右の歌は袖ヶ浦にちなんだ歌3首のうちの一つです。「馬來田の嶺^ねろ」とは、小櫃川の北、袖ヶ浦台地と呼ばれている小高い丘を指していると考えられています。



万葉植物園の歌碑

馬來田の嶺ろの笹葉の 梅雨霜の濡れてわきなば 汝は恋うばそも

東歌(卷十四ー三三八二)

袖ヶ浦公園の植物といきもの ～公園のワンシーン～



サクラ



カワセミ



ハナショウブ



シジュウカラ



キアゲハ



ハクセキレイ



ヒヨドリ



カワウ



オナガガモ

袖ヶ浦公園散策マップ



あじさい



梅園



ヨシ育成地

飽富神社の筒粥で使う
ヨシをとる場所です。



健康器具



アドベンチャーキッズ



袖ヶ浦弁財天



日時計



公園内の動植物採取は禁止されています。

学び つながる 博物館

人とつながる



歴史を伝える



記憶を伝える



地域とつながる

そではくで学ぼう ～より深くそではくとつながっていくために～

市民学芸員

博物館を支えるボランティアです。学校の校外学習体験の支援や、市民学芸員企画の展示やイベントも行っています。詳細は博物館にお問い合わせください。



博物館友の会

仏像を学ぶ会・土器作りの会・何でも有り会・風の会の4グループが、そではくを拠点として活動しています。随時入会できます。お問い合わせは博物館まで。

年会費 2,000 円

会員特典 年2回程度開催される自然と歴史の散策会に参加することができます。

上総掘り技術伝承研究会

平成18(2006)年度に国の重要無形民俗文化財指定を受けた、井戸掘り技術『上総掘りの技術』を学び伝える団体です。ミュージアムフェスティバルでの体験や、上総掘り技術についての問い合わせにも応じています。上総掘りについてのご質問や入会希望の方は、博物館へお問い合わせください。



そではくでは収蔵品データベースをHP上で公開、一部資料の貸し出しを行っています。また、学習相談も受付けています。

電話・Eメールなどお気軽にご相談ください。

MEMO

STAMP

利用案内

本館・アクアラインなるほど館
旧進藤家住宅

開館時間

9:00 ~ 17:00

休館日

月曜日・祝日の翌日（4月～11月）

月曜日・祝日（12月～3月）

12月26日～1月4日

入館料

無料（特別展示開催時は有料）

その他の屋外施設はいつでもご覧いただけます。

袖ヶ浦市郷土博物館

〒299-0255

千葉県袖ヶ浦市下新田1133

TEL0438-63-0811

FAX0438-63-3693



e-mail sodehaku@sodegaura.ed.jp

HP <http://www.sodegaura.ed.jp/sodehaku/index.htm>